
Orthopedic Research Society 2018

整形外科教室 大学院3年 中川 浩輔 (平成23年入局)

大学院3年の中川浩輔です。このたび2018年3月にUSAのニューオーリンズで開催されたOrthopedic Research Society 2018にポスターで参加させていただきましたのでご報告させていただきます。

海外での国際学会の参加は2017年4月のAPKASS summitに次いで2回目となります。今回Histological analysis of wrapping treatment for meniscal horizontal tears in rabbit modelというタイトルでポスターを作製し、ORSの前日に行われるPre ORSのPoster Teaserで短いプレゼンテーションを行うことになりました。今回指導医の大槻先生が所用のため帯同できず、Pre ORSのため一日早く渡米する必要があり一人で渡航しました。英語は苦手ですのでUSAにたどり着けるか？が勝負でした。

行きはシカゴ経由でニューオーリンズに向かい、思いのほか入国はスムーズに行きましたが、シカゴ→ニューオーリンズの手荷物検査で最大のピンチに遭遇しました。入国で安心してた私はズボンに財布などを入れたままでゲートを通り、アラームが鳴り横に連れて行かれ検査を受け財布などを出していないことを怒られ、検査のため回収されました。そこから手荷物を回収しに行くとも財布が見つからず、本気で焦り、怒りながら探してくれ！（自分が悪いのに）と叫びました。この先にあれほどアメリカ人に本気で怒鳴ることはないでしょう。

Pre ORSでは本場アメリカ人の話す英語のスピードに圧倒されましたが、なんとか無事プレゼンテー

ションができました。その後、嶋先生、辻中先生と合流しました。ドラゴンボールで例えるとピンチに悟空が来た時のような安堵感がありました。その節はありがとうございました。翌日からは横田先生、藤野先生とも合流し一気に観光気分になったのを覚えています。

観光ですが、記憶に残っているのはプリザベーションホールと夜の街です。ジャズの聖地ニューオーリンズの中でも伝統のあるプリザベーションホールでのジャズライブは予想外に会場が狭く古かったですが、ライブそのものは非常に良い雰囲気でした。ジャズを普段聞かない私も楽しめました。夜の街は変な意味ではなく、結婚式なのか車の上や路上で陽気に踊りまくる人々とともにパレードを楽しみました。街道一帯を巻き込んだ日本ではお目にかかれない愉快的な雰囲気で楽しかったです。ポスターの展示は1時間ポスター前で立っていなければいけないため不安いっぱいでしたが、帰国した際は少し大きくなった気がしました。今振り返ると、高所恐怖症のため飛行機が嫌いで海外旅行も嫌いな私がUSAに行き、ポスター発表をしたということは大きな出来事でした。大学院生として研究をすることはしんどい事も多いですが、大学院でしか得られない経験ができたのではないかと考えています。

今回は貴重な経験をさせていただきました。特に根尾先生、大槻先生、岡本先生ご指導ありがとうございました。